



2024年4月号

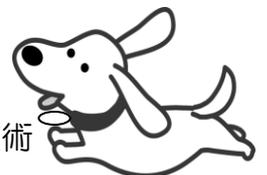
検査室だより

新年度が始まりました。親しい人との別れや、新しい出会いがあったのではないのでしょうか。いつもの職場もなんだか違った雰囲気です。ソワソワ落ち着かないかもしれませんね。大きく深呼吸。肩の力を抜いて「さあ！がんばるぞ！」

3月初めに名古屋市から「麻しん（はしか）の国内伝播事例の増加に伴う注意喚起について」発表がありました。つまり「はしか患者が出たから気をつけて！」という名古屋市からのお知らせです。大阪府で公表された麻しん患者と同じ飛行機に乗っていた女性2名が同じ遺伝子を持つ麻しんを発症しました。彼女たちの行動が詳しく発表され「接した可能性のある人は気をつけて下さい」というものです。麻しんは、麻しんウイルスによっておこる感染症で、人から人へ空気感染や飛沫感染、接触感染など様々な経路で感染します。非常に強い感染力があり、免疫がない集団に患者が1人いた場合、12～14人の人が感染します。新型コロナが2～3人、インフルエンザが1～2人とされているところをみると、どれほど強いかがわかります。感染すると約2週間の潜伏期間を経て、発熱、咳、鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後さらに高熱が出るとともに全身にボツボツが出ます。主症状は1週間くらいで回復しますが、免疫力が低下するため完全に回復するには1か月くらいかかることもあります。麻しんは手洗いやマスクなどでは予防できません。唯一最強の予防法はワクチン接種です。助成金が出る自治体もありますが、自費で受ける任意接種だと1万円前後します。幼少期にワクチンを接種しているか、今までに罹っていれば、麻しんに対する抗体はあります。（注：ワクチンをうってるから絶対大丈夫！ではありません）これを機に一度実家に帰って自分の子供の頃の話聞いてみるのもいいかもしれませんね。



オリンピック代表選手が次々と決まり始めています。前回のオリンピックはコロナ禍で大変な時でした。今度のオリンピックはみんなで大きな声援を送れそうです。「がんばれニッポン！」



公衆保健協会 巡回技術

